

# 第 52 回 近畿高等学校自転車競技大会ロードの部

## 監督会議資料

### 近畿高体連自転車競技専門部 技術審判委員会

本大会は、2015 年度版競技規則集（J C F）及び近畿大会特別規定（近畿審判委員会）にて運営する。

## 1 機材

### (1) ハンドル・サドル

#### ①使用できるハンドル

基本的には伝統的形狀（ドロップハンドル）とする。変則的なハンドルについて（ハンドルバー・エクステンション）は使用できない。

#### ②ハンドルの高さ・サドルの先端部の位置

身体形態上の理由により競技規則と合致しない場合、まず、下記のような選手自身ができる対応を行うことを前提とし指導する。

対応例：ハンドル・ステムの種類変更（浅いハンドルや角度の大きいステム等を利用する）

サドルを最大限後ろに下げる努力、シートピラーの変更等

### (2) ホイール

集団スタートのロード・レースとシクロクロス競技に おいては UCI の事前承認を得た車輪のみ使用できる。車輪は最少 12 本のスポークを持つ：それら の断面寸法が 10 mm を超えない限り、スポークは丸、扁平もしくは楕円であってよい。

### (3) 重量

自転車の重量は、6.8 kg を下回ってはならない。

### (4) ギア比の制限 7.93m とする。17 歳未満でも、これを上限とする。

最大値（参考）27 インチ 52:14 26 インチ 52:13

### (5) ヘルメット

試合・練習ともに J C F 公認のシールを貼付されている物、若しくは競輪用ヘルメットとする。ヘルメットの機能を有さない物（ひび割れ等）は使用できない。

## 2 競技について

### (1) 出走登録（サインシート）・検車

①出走登録は宇陀市農村環境改善センター「農林会館」にて、9時00分より行う。出走登録時に、検車ならびにユニフォーム・ゼッケン・ヘルメット・フレームプレート等のチェックを行う。この際ライト・サドルバック等のレース中に落下する危険のあるものを外して検車をうけること、

②代車・代輪のギア比も制限の対象となるので注意すること。

③ゴール直後に、上位 20 位をめどに再検車を実施する。20 位に入った可能性があると思われる

る選手はゴール後速やかに直進し、誘導員の指示に従って検査を受けること。競技終了後にギアの違反が認められた場合、及び検車対象選手にもかかわらず検車を受けなかった選手は理由の如何を問わず失格とする。

- ④ゴール後でも機材等の違反が発覚した場合は失格となる。
- ⑤サインシートへの記入漏れはレースから除外される。

## (2) スタート

①前回大会入賞者及び平成位26年度の全国総体・国体・全国選抜大会入賞者はシード選手として第1列目からのスタートとする。

シード選手以外のスタート位置は、府県単位の抽選により決定する。(番組編成会議にて各府県委員長がくじびき) 府県枠内のスタート位置は各府県で決める。

- ②招集は9時45分に指定の位置に集合し、スタート予定時刻の5分前に指示通りにスタート地点に並ぶ。
- ③スタートはパレードスタートとし、正式スタートは審判車からの合図による。

## (3) タイムアウト

近畿大会特別規定に従う。関門はC交差点(大宇陀区野依(ダイワホーサン駐車場前))、F交差点(榛原区高塚)、スタートフィニッシュ地点(榛原西小学校前)の3カ所で行う。

先頭通過後最大7分で関門は閉鎖される。関門打ち切りは1周回目終了時のスタートフィニッシュ地点の関門から7周回目のF交差点(榛原区高塚)の関門まで行う。

(4) 審判車両が集団の動きを規制することがある。選手は必ず、その指示に従うこと。

## (5) 補給

C交差点(大宇陀区野依(ダイワホーサン駐車場前))手前の登り区間左側においてオフィシャル補給を4・5・6周回目に実施する。中身はミネラルウォーターのみとする。補給所の手前に投棄ゾーンを設置する。それ以外の場所でのボトルの投棄は認めない。

## 諸注意

- ・関門で打ち切られた選手について  
タイムアウトになった選手はゼッケン・を外して、関門所でレース終了時まで待機する。レース終了後、交通法規を順守して農林会館に戻る。
- ・ゴールした選手は誘導員の指示に従って、迂回路を使用して農林会館に移動すること。
- ・ニュートラルカーに用意する代輪はシマノ製 10段ジュニアギアと 11段ジュニアギアとし、ニュートラルカーは先頭集団優先に移動するものとする。
- ・シマノ製 10段ジュニアギアと 11段ジュニアギア以外の代車輪は各校で用意すること。ただし、ニュートラルカーには積めない。

- ・各校で代車輪をスタートフィニッシュ付近のコース外に置くことは認めるが、置き場所の保障は出来ない。またコース上にはみ出すことに無いように置くこと。各校の責任において紛失・盗難の無いように管理すること。

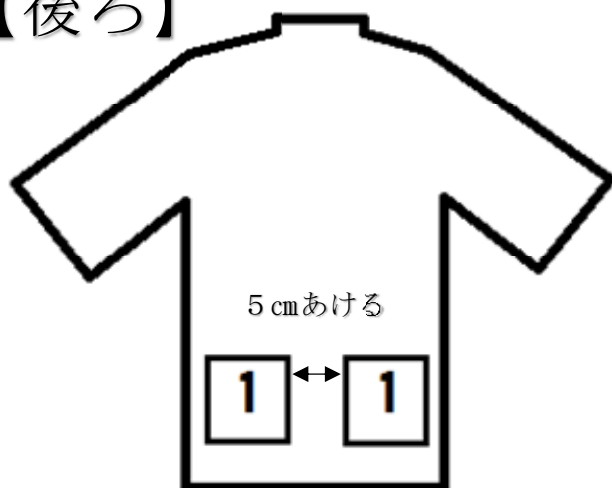
<保護者等への連絡事項 ※各校顧問で連絡下さい。>

- ・路上駐車、停車や歩道への駐車もできない。駐車場は榛原西小学校を利用する。
- ・コース全面通行禁止は9：45～12：15となっています。榛原西小学校を利用する保護者等の関係者は早い段階での移動をお願いします。小学校は午前7時に開門します。
- ・歩道や柵のないところからの応援や観戦は禁止する。

<ゼッケン等取り付け位置>

- ・競技者は、常時明瞭に見えるようボディ・ナンバーをしっかりと付けなければならない。2枚付ける場合には約5cmの間隔を空けて付ける。ゼッケン（ナンバー・カード）は折曲げたり、切ったりしてはならない。

【後ろ】



<ヘルメットシール・フレームプレート>

- ・ヘルメットシールにおいては走路の左側にビデオ判定装置を設置することから、ヘルメットの左側面（競技本部テントから見える位置）に貼付する。
- ・フレームプレートも確実に走路の左側から見える位置に取り付ける。取り付け位置は、選手の支障とならないように、トップチューブ、サドル下、シートポストのいずれかとし、常時明瞭に確認できるところとする。

<スタート列>

1 列目	シード選手 奥村・三好・徳田・吉岡 溝口・永橋・曾我部
2 列目	兵庫A (8人)
3 列目	奈良A (8人)
4 列目	和歌山A (7人)
5 列目	京都A (8人)
6 列目	大阪A (8人)
7 列目	滋賀A (5人)
8 列目	大阪B (8人)
9 列目	兵庫B (8人)
10 列目	京都B (8人)

11 列目	奈良B (8人)
12 列目	奈良C (6人)
13 列目	兵庫C (8人)
14 列目	京都C (8人)
15 列目	大阪C (8人)
16 列目	兵庫D (8人)
17 列目	大阪D (8人)
18 列目	京都D (9人)
19 列目	兵庫E (7人)
20 列目	大阪E (9人)

<選手ゴール後農林会館への経路>

